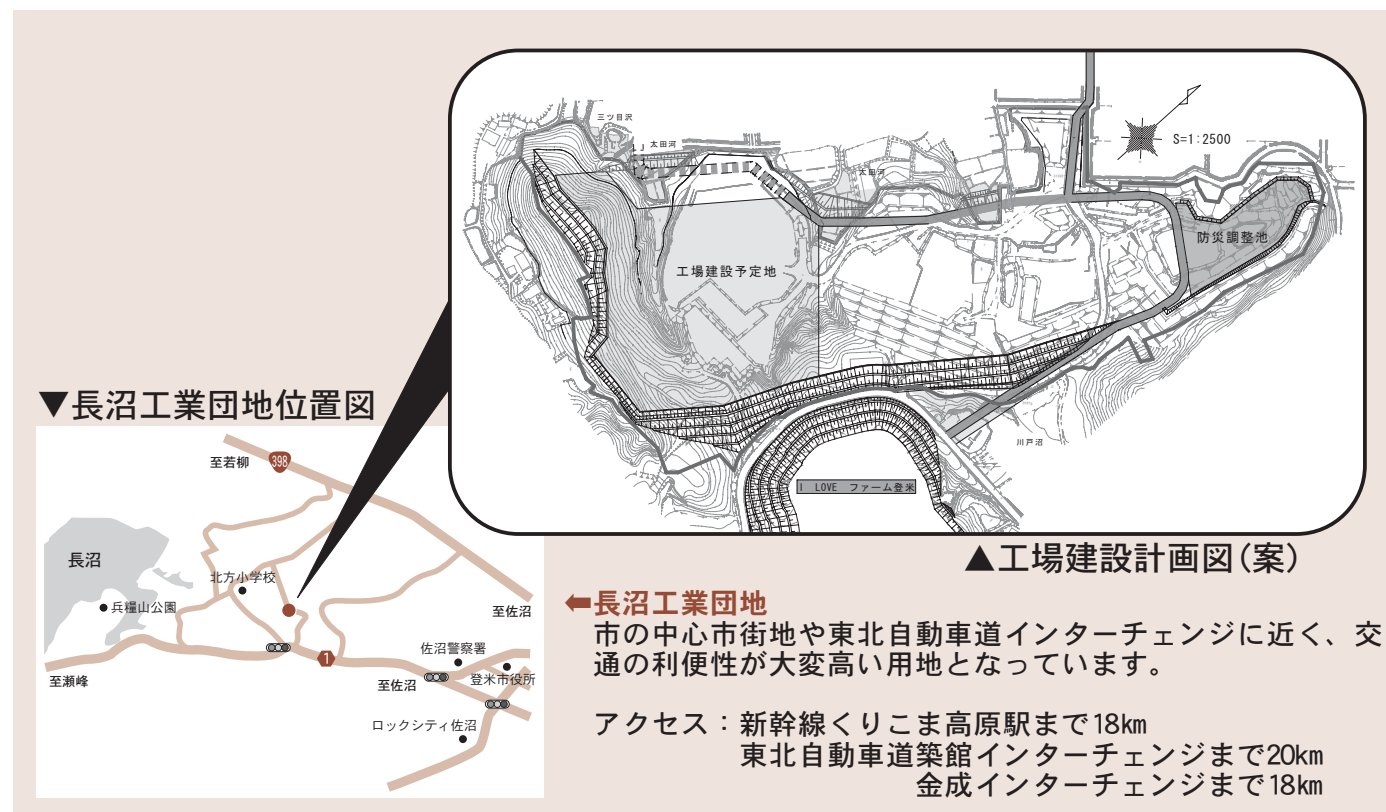


◆豊田鉄工株式会社 長沼工業団地位置図 工場建設計画図(案)



▲工場建設計画図(案)
 ◀長沼工業団地
 市の中心市街地や東北自動車道インターチェンジに近く、交通の利便性が大変高い用地となっています。
 アクセス：新幹線くりこま高原駅まで18km
 東北自動車道築館インターチェンジまで20km
 金成インターチェンジまで18km

ロケーションやアクセスの良さが決め手
 長沼工業団地への立地は、東北での小型車の生産需要にあわせ、愛知県三河地区からの物流コスト削減や、将来の人材確保、立地条件、交通アクセスの良さから決定されました。
 協定式において三宅社長は、「現地を視察するなど調べた結果、ロケーションも良く、またセントラル自動車と関東自動車工業岩手工場との中間地点に位置しており、交通ア

登米市に初の大手自動車部品製造メーカーが進出
 愛知 知県豊田市に本社を置く、トヨタ自動車関連の大手プレス・樹脂部品メーカー豊田鉄工(株)の新工場が建設されるのは、迫町の長沼工業団地で、設備投資額は約14億円、第1次敷地面積は約5万平方メートル以上、延べ床面積は約7500平方メートル以上となっています。
 工場では、主に関東自動車工業岩手工場(岩手県金ケ崎町)やセントラル自動車(宮城県大衡村)に供給する車体のプレス部品、ドアの内張り、ブレーキペダルなど自動車の骨格部品を製造する予定となっています。本格稼働時の売り上げは40億円を見込んでいて、地元からの部品調達なども検討されています。

「今後は、地元での部品調達による地域経済の活性化や、地元雇用の拡大による若者の定着などが期待されます。」
 三宅社長は「おらが町の『トヨタ』と言ってもらえるよう、地元に着目した企業でありたい」と登米市へ定着への思いを述べました。

産業の振興に大きな期待 地元企業への波及効果も
 県 庁であった協定式後の記者会見で村井知事は「豊田鉄工様の本県進出は、『富県宮城』の実現を大きく推進するとともに、自動車関連産業の集積は、県内だけでなく東北全域に拡大、波及するものと大きな期待を寄せています」と同社への期待を述べました。
 豊田鉄工が地元の愛知県以外に生産拠点を開設するのは福岡県に次いで2件目となっていて、県内へのトヨタグループ企業の立地は、大衡村に立地したセントラル自動車を含め6件目となっています。

愛知県豊田市
 豊田鉄工株式会社



協定締結後、固く握手を交わす村井知事(左)、三宅社長(中央)、布施市長(右)

登米市の産業振興の大きな弾みに！

自動車メーカー大手トヨタ自動車のグループ会社で、自動車部品製造大手の豊田鉄工(愛知県豊田市、三宅英臣取締役社長)が、登米市長沼工業団地に新たな製造工場を建設することが決まり、7月6日宮城県庁で同社と県、市の三者で立地協定を締結しました。
 今後は平成24年1月の本稼働を目指して、11月上旬に建設工事が始まる予定となっています。
 豊田鉄工の進出は、市内産業の活性化や雇用確保など、市発展の大きな一歩として期待されます。

豊田鉄工株式会社の概況	
社名	豊田鉄工株式会社
代表者	取締役社長 三宅英臣
所在地	愛知県豊田市細谷町4丁目50番地
創立	1946年2月27日
資本金	22億2,300万円
売上高	970億円(単独) 2,025億円(連結)【2010年3月期】
従業員	2,100人(単独) 8,631人(連結)【2010年3月末時点】

平成24年1月の操業を目指し、新工場建設へ
豊田鉄工(株)の立地が決定

